

## 「県道田名古屋線の歩道再整備(案)」についてのパブリックコメントの実施 結果

県道田名古屋線の歩道再整備を実施するにあたり、市民のみなさんからご意見をいただくためパブリックコメントを実施しました。

ご意見をいただきありがとうございました。

次のとおり結果を公表します。

- 1 意見募集案件名  
県道田名古屋線の歩道再整備（案）
- 2 募集期間  
平成26年6月23日（月）から平成26年7月22日（火）まで
- 3 閲覧場所
  - (1) 市役所本庁舎3階土木課
  - (2) 市役所西庁舎1階情報コーナー
  - (3) 市ホームページ
- 4 募集結果  
17人 25件
- 5 提出された意見及び意見に対する市の考え方  
別添のとおり

項目	No	ご意見の概要	市の考え方
整備について	1	再整備される歩道が高齢者や幼児、障害のある人に安全で快適な空間となるよう、「ユニバーサルデザイン」を目指してください。 1 余裕ある幅員 車いすが余裕を持ってすれ違える道幅が必要です。 道幅が狭い所は、無電柱化を図ってください。 2 歩道と車道の段差解消 歩道縁石は、歩道と車道の段差を0～2cm(15%勾配)とスロープ状に変更し、スロープ部分に滑り止め加工を施してください。 3 歩道面の材質 車いすやベビーカーは小さな凹凸にも反応し、走行しにくくなります。 (例:カラーブロックを並べた舗装は不適) 表面が柔らかく、水はけの良い材質での舗装を研究してください。 4 視覚障害者対策 1) 視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)を正しく設置する。 (ブロックの色は、視認性の良い黄色とする。) 2) 交差点の歩行者信号を「音響装置付き信号機」に交換する。	1. 今回の整備において、車いすがすれ違える幅員(最低3m)を確保します。 2. 今回の整備において、歩道全体の構造を変更することを考えておりません。 なお、歩道と車道の段差は0～2cmとなっています。スロープ状などへの変更につきましては、道路管理者である愛知県に伝えます。 3. 今回の整備において、歩道全体の構造を変更することを考えておりません。 今後の整備の参考にさせていただきます。 4. 今回の整備区間において、主要信号交差点には点字ブロックは設置済になります。 音響装置付き信号機につきましては、愛知県警察に意見があったことを伝えます。
	2	大変良い事だと思います。 皆が楽しく暮せる街造りに大賛成です!! 整備案が具体的になりましたら、また知らせていただけたら幸いです。宜しくお願い致します。	今後、工事の前には沿線の方を対象に工事説明会をさせていただきます。
	3	案には概ね賛成です。但し、 ・既設の植栽等はなぜ育たなかったかは反省すべきです。 ・車道のみならず民家側にも植栽樹も造り緑化を多く歩道は多少ジグザクでもよいです。	土壌調査の結果、不良となっているため、整備にあたっては土壌改良等をしつかりと実施していきます。
	4	本来は歩道3m、植樹帯2m確保の拡幅整備をすること。 まず、現状土質において適合樹種の植栽・生育試験を実施すること。 年度内の事業実施であれば歩道下部の土壌全体について透水性が確保されるよう、土壌改良が必要です。植穴部分のみではバケツに砂を入れた如く透水性・通気性の確保が困難と思われます。(そのためにも、十分な実験が必要) 市域全体の調査改善策の一環とすること。街路・公園・駐車場、公共施設には多くの街路樹が植えられているが生育不良な状況のものが多い、原因調査と改善対策について全施設に対し実施することが必要です。	
	5	県道田代古線計画の間に間に合うか分かりませんが、市の植栽に長久手市内里山の「山採り樹木」を使うことを提案します。 案では、中木にアオダモ、エゴと書いてありますがその代わりに長久手市内の里山に自生しているソヨゴ、タカノツメ、シャシャンボ等の山採り樹木を使用して、本当の長久手市の本当の里山を表現してみたいかですか。  メリット1 山採り樹木を使用することにより、1本ずつ自然な樹木の景観が楽しめる(植木産地で生産された樹木は挿し木によるものが多いので、クローンのようにほぼ同じ樹形をしている。)  メリット2 現在、里山に手が入らなくなったのは、里山に経済的価値が無くなったのが原因であると考えますが、街路樹等に植栽するために、里山地権者から山採り樹木を買い取るシステムが成り立てば、里山に価値が付き、放置されている林地が減少する糸口になると思います。 この場合、街路樹等に利用する樹木を積極的に里山から掘り取ると、本来の里山の景観がさらに悪くなる恐れが考えられるが、除去された空間は太陽光を受けて、樹木の更新が進み、里山にとっては好都合ではないでしょうか。 メリット3 アオダモ株立ちH3.0クラス1本の価格は35000円前後すると思われませんが、経験から山採り一発掘りでH3.0～4.0株立ちを5本掘って、半日で山から下りてこられたのでコスト的にも安く済むのではないのでしょうか。  課題 上記1発掘りの場合には、1年目の夏が越えられず枯れるものが出るので、縦堀だけを行って根切り・埋戻しを行い、翌年に掘り取ると枯死率が減少する。このように養成に時間がかかるため、計画的に準備する必要がある。  里山に自生する樹木を市が街路樹等に積極的に植栽する事により地元里山の価値が上がる。このような緑の循環が出来上がれば、市民が喜ぶ市の緑化事業となり、市の緑の価値が自ずとあがるのではないかと考えます。	樹種の選定につきましては、植栽後の生育を考え、街路樹に適した物の中から里山の風景となる樹種を選定していきます。 なお、樹種の購入方法につきましては詳細設計の中で検討していきます。
	6	樹種については地域既存樹種を選定すること。	
	7	緑豊かな田代線、緑のネットワークを形成するという基本コンセプトには全面賛成です。 極力常緑樹とし、秋～冬にかけて大量の落葉で歩道が埋まったり、かつ清掃も大変だと言う事の少ないよう配慮して頂きたい。 長久手のメインストリートにしたいと吉田市長がいうように図書館通や長東線よりも樹間をもっともっと短くし、沢山の樹を植えて緑リッチな市役所通りにして下さい。	樹種につきましては、季節感のある落葉樹を主に考えていますが、意見を参考に常緑樹と落葉樹の割合については検討していきます。 落ち葉については、市道(図書館通りや香流通りなど)の街路樹と同レベル(剪定1～2回、除草5回、清掃2回など)での管理を考えています。
	8	歩行者にやさしい歩道にしてください。歩道の舗装が荒れている。歩きたくない景観形成、透水性のあるインターロッキング、歩行者・高齢者の膝に負担をかけないシルバーロッキング(透水性ゴムブロック)舗装。または、それに準ずる歩道面の整備が必要です。市のイメージアップというなら歩道もトップランクの整備・気遣いをしてください。	今回の整備では、歩道全体の舗装構成まで変更することを考えておりません。 今後の整備の参考にさせていただきます。

	<p>今回の歩道再整備(案)には、無理があると思う。 案では、両側の歩道のようにどうしても整備をするということならば道路の南側だけでよいのではないのでしょうか(名古屋市名東区で一部南側のみ高木樹が植栽されている)。</p> <p>北側の民有地に面している場所は高木の植栽は一切しないほしい。 理由 1. 7mもする高木を植えると将来日照の問題が出てくる。 2. 歩道の両側への植栽は余裕がない(幅がそれだけない)。 3. 低木樹木でも見とろしが悪くなる(市内でも時々車で感じる剪定の高さが杓子定規)。 4. 落葉樹を植栽とのことですが、民有地への落葉などの処理は誰がするのか。 5. 枝の問題(はみ出た枝の処理)。 6. 倒木の問題(将来台風等で財産の損害・人命の危険に対してどう対処されるのか)。 7. 北側は、調整区域 農振地域であるが市としてどのような都市計画をお持ちか知りた。 8. 東京の例 杉並区と中野区の境界辺り東西の片側1車線の道路の北側の2mくらい歩道に戦後間もない復興事業として植栽されたと思ひますが幹回りが人間が2人両腕をひろげてやっとぐらいの大木(高さは10mくらいだと思ひ)が歩道に何本も植わっているのを見たことがあるが危険を感じる(住宅がいっぱい)。</p>	<p>1. 高木の配置については、詳細設計の中で検討していきます。 2. 歩道の両側への植栽は千鳥配置とすることで、歩道の有効幅員は確保していきます。 3. 交差点部など、見通しの確保が必要な箇所については、樹種の選定も含め検討していきます。 4～6、8. 維持管理については、市道(図書館通りや香流通りなど)の街路樹と同レベル(剪定1～2回、除草5回、清掃2回など)の管理をしていきます。 7. 長久手市都市計画マスタープランにおいては、農地保全活用ゾーンと位置づけています。</p>
9	<p>市民参加の花ダン造り、その維持も必要です。</p>	<p>整備後の維持管理につきましては、市で行う予定をしておりますが、市民参加による維持管理についても、今後の重要な課題と考えております。</p>
10	<p>意見募集だけでなく、沿線市民と整備後の管理も含めた協議が必要ではないでしょうか。</p>	
11	<p>私としては、歩道を整備することに不安はないが、後々として今の様に、荒れた状態になってしまうなら、やらない方がいいかもしれない。だから年に1回ぐらいの手入れでなく週1ぐらいに、こまめな手入れをして最初の美しさを保てる様にすべきではないだろうか。その為の費用がこの案の中に一言も書いてない。かと言って住民税が上がる様だったら別の方法にして欲しい。いっそうの事、植樹はやめて歩道を整備した方が後が楽でないでしょうか？</p>	<p>樹種の配置につきましては、照明灯に影響の無いように考慮させていただきます。 今後、市道(図書館通りや香流通りなど)の街路樹と同レベル(剪定1～2回、除草5回、清掃2回など)の管理をし、今のように荒れた状態にならないように努めてまいります。</p>
12	<p>樹木の手入れ(剪定、害虫駆除、落葉清掃)を定期的にして頂きたい。(現在の低木の手入れでさえ、きちんと頂けていない状態です)この整備事業や今後の維持費により増税されることは避けて頂きたい。</p>	
13	<p>木の種類は何でもいいですが、植えた後の継続的な手入れをしっかりとして下さい。</p>	
14	<p>貴案に大賛成です。 樹木、植栽に伴い、夜間の照明、枯葉の始末、防虫駆除等、十分に御配慮願ひます。</p>	
15	<p>現在、市内の各所で大木に由来する落ち葉の処理について住民からの苦情が寄せられているが、これらに対する市としての根本的な解決法は聞いていない。 歩道再整備(案)は、高木から地被植物までを適所に配置して景観価値を高めるとしており、この方向性は高く評価できる。しかしながら、そのなかに「高木の樹高を5～7m程度とし、視線に留まる場所には積極的に7mを植樹する」との記述はあるものの、将来の樹高をどの程度に維持するかについては具体的な記述がない。 これらの樹種は自然型を育てると、クスノキは20m、ケヤキは20～25m、タイワンフウは20mに達する。さらに、これらが道路の両脇に植樹されて大木になった時には、それらの樹冠はそれほど広くない道路をすべて覆ってしまうであろうし、道路脇に設置されている電線等のケーブルと交差するであろう。このように、高木となる樹木は計画時における紙上の景観としては好感が持てるが、将来的にその景観を維持するには大変な努力が必要であり、経費もかかる点も十分配慮しておくべきである。 市内の丸山住宅敷地内の西南隅に植栽されていて、高木になってしまったケヤキ、クスノキ、アベマキの幹や枝がこの7月になってぱっきりと切られてしまった。これらの木は数年前にも同じように処置されていたのを記憶している。 一般に箱物(植樹も含めて)を作るときには予算があれば実行できるが、それらを維持するには改めて予算が必要となる。このように高木となるような樹種を植樹する場合には、将来予想される維持管理も含めた事業計画としていくことが肝要である。</p>	<p>落ち葉の処理については、市民参加による維持管理も含め課題だと認識しています。 樹種の配置については、できるかぎり電線などのケーブルとの交差を避け配置するよう詳細設計の中で考慮し、大木に成長した際にも耐えられるような仕様にしてまいります。 維持管理についても、支障が無いように剪定等を実施していきます。 維持管理経費につきましては、他の路線も含め維持管理レベルを確保しながら、市全体の維持管理経費の圧縮に努めてまいります。</p>
16	<p>市役所前を通る路線であり、長久手のイメージをつくる重要な道路と考えます。 他の路線と比べ大きく見劣りするので長久手にふさわしい街路としての整備は必要と思ひます。 整備案についてはぜひ早期の実現を願ひ致します。 ただ高木類、ケヤキ、クスなどは歩道路盤をいためるので、ごく限定的、有効的な配慮を願ひします。事後のメンテナンスを十分にご配慮下さい。</p>	<p>管理のしやすさや将来管理コストの低減について考えるべきだと思ひます。そういった中で現在管理実績のある樹種で里山風景となるような物を選定しています。 倒木対策として、樹高に合わせた支柱を設置したり、高木の根による「根上がり」現象の対策として、土壌改良と共に防根シートを設置したり等の対応を詳細設計の中で考慮していきます。</p>
17	<p>樹種について維持、管理のしやすい樹種が良いのでは？ 別紙、新聞記事の写しを添付します。参考に 2014年7月11日 毎日新聞より 剪定がほとんど必要ない樹木に植え替える方向で検討 全国的に問題となっている倒木や枯れ枝の落下の被害を防ぐとともに、大木の根が舗装を持ち上げ歩道がぼこぼこになる「根上がり」現象を抑える効果や、管理コストの低減 生育し過ぎて視界が遮られる</p>	

維持管理について

	<p>19 市内主要道路「7/18植栽帯及び樹木の有る現状」を主要6路線程度の樹木や植栽帯の今現在の現状と管理状況や隣接する居住者への迷惑状態を見て廻った。 結果として、樹木は約50%程度管理不十分、植栽帯に至っては約70%程度に渡り雑草や大きな草まで生えて極めて不愉快であった。また、植栽帯が非常に面積を多く取っており、困り汚く市民として何とも痛ましく感じた。更に、風や車の通行に困り近隣の居住区まで、落ち葉やゴミ等々散らばっていた「落ち葉は風下に向かって100m先まで散乱するようである」。結局近隣の住民は落ち葉や枯れ草の清掃を黙ってしているように思われた。従って、近隣周辺へ迷惑も考えて植栽帯や樹木を半減以下に減らし管理を徹底してほしいと思う。以上のような状態で田糲線について考えると、現状変更は絶対反対。理由、新たに環境を悪くする!!</p>	<p>愛知県と市では管理レベルに違いがあり、草が生い茂っているのは把握しています。今後、市道(図書館通りや香流通りなど)の街路樹と同レベル(剪定1~2回、除草5回、清掃2回など)の管理をし、今のように荒れた状態にならないように努めてまいります。また、市で落ち葉を全て清掃することは難しい現状もあり、市民参加による維持管理については、今後の重要な課題と考えております。</p>
	<p>20 沿道の整備は基本的に大歓迎ですが、こういったパブリックコメントの集め方にはとても賛成できません。  どんな事業においても、それには費用がかかります。  事業の善悪の判断は費用対効果で推し測られるべきもので、予算書のない事業についてはその善悪の判断ができないはずです。  街路樹の植え替えについても、その種類は案として表記されていますが、その本数については記載がありません。  現段階では未定なのかもしれませんが、現段階の事業案ではコメントができるはずがありません。  長久手市に限らず、行政のパブリックコメントの募集には、いつも恣意的なものを感じざるをえません。</p>	<p>今後、パブリックコメントを実施する際は、できる限り考慮させていただきます。</p>
	<p>21 景観を害する建物、カンバン等の改善指導も必要です。</p>	<p>違法な看板につきましては随時指導をしていきます。</p>
	<p>22 色金山公園への歩道の整備(安全な)も忘れないください。</p>	<p>田糲名古屋線から色金山歴史公園までの区間(県道春日井長久手線)につきましては、引続き県とも協力し整備してまいります。</p>
<p>その他</p>	<p>23 幹線道路の一つには変わりがないが、住宅が少ない、商業施設は全くないところへ里山だけで人は散策するだろうか疑問である。このような歩道の大規模な緑化はしてほしくない。それより段差のある歩道を段差のない歩道に整備してもらいたい。  それこそ、市役所交差点から今後商業施設がいっぱいできると予想されるリニモ古戦場駅までを坂のない散策路で特に岩作の住民が車いす、ベビーカー、徒歩で(また古戦場駅方面から来る人も同じ)老若男女が行きかう今回の歩道整備案のような構想で整備をされることを願います。これからは東西でなく南北を重視すべき、色金山公園等里山と称する地域にもリニモとセットに観光誘致が可能ではないか。 公共施設(市役所庁舎周辺の景観向上計って憩いの場所としての空間を創造すべきと思います 庁舎の駐車スペースが多すぎ ほかに、香流川散歩道(呼称は不正確)のモリコロパークまでを早く整備すべきではないか。 今回の整備案は岩作交差点から市役所交差点まででよいと思います。 都市計画が不透明で私には必要度がわからない。 建設は簡単(金さえあればできる)であるがあとあとの維持管理 年2回程度の管理作業(入札)とボランティア作業では限界があると思います。  地方税の不交付団体ということで余裕があるならば、目的のある基金として備え住民の生活に密着した使用法をお願いしたい。 長久手市もご多分にもれず何十年か後に少子高齢化になると予想されますので人にやさしい整備構想を今以上に実現していただきたい。</p>	<p>県道田糲名古屋線は、里山エリアと市街地を結ぶ緑のネットワークを形成する重要な路線の一つであることから植栽帯等の再整備を実施することにより市全体のイメージがアップにつながると考え整備を行います。 また、今回いただいたご提案は今後のまちづくりにおける、参考とさせていただきます。</p>
	<p>24 道路沿の住民として、ガードレールが当家より車出入りの部分が此処だけ間隔が狭い為、出入りの運転に支障と危険を感じるので、7/15日市の土木課まで出向き相談伺いましたが、今回のこの件とは全く関係ないと無礙に断られました。 歩道整備(案)3-(2)-キの項に道路施設ガードレール、ガードパイプ等及びトリス設置例等々明記して有るが、これらは愛知県とは全く関係ないのか、許認可なしで勝手に工事等????。当然話し合い認可を受けてやる行為と思えます。たかが一市民の小さな願いを無視してまで、市民の不利益になることに税金等使うなんて今回の計画等の行為は怒りを感じます。もっと市民全体のことを考えて実行してほしい。たとえば、自転車が交通違反をせずに安全に運転出来る専用自転車道路を現状道路で、どう増設していくのか、緑化より先に考えて事故の少ない安全で快適な街になるよう研鑽されるべきと思えます。 現状維持で余分な税金や経費をかけないこと。絶対反対「但し、道路の修繕修復および危険防止は除く」</p>	<p>今回の整備は、道路管理者である愛知県と協議をおこない、許可をいただいた上で実施してまいります。 安全で快適な道路空間の整備についても必要と考えております。限られた道路区域の中で、全ての道路利用者が安全に通行できるよう検討に努めてまいります。</p>
	<p>25 特にありません</p>	